

Q1 これまでにレーザー加工機を使って開発してきた商品は？

A 杉材家具に店舗名や創業年などを印字彫刻した店舗向けチェアや、生年月日や出生時の体重を印字した子供用ベンチやテーブルを開発しました。

Q2 導入後のお客様の反応は？

A お客様のニーズに合った商品製作の幅が広がり、今まで取引がなかったところから引き合いが来るようになりました。

Q3 今後の展望は？

A この加工機を導入したことで販路がどんどん広がっています。5年で年間売上1000万円増を目標に自社の製品をもっとブラッシュアップして、新たな商品開発に取り組んでいきたいと考えています。

〈代表取締役〉
桑畑 喜芳
くわはた きよし

〔座右の銘〕
日々是好日



さらに、家具の製造段階で発生する端材にレーザー加工機で印字したネームタグを新商品として開発。地元のショップや自治体に木製名札を提案したところ好評で、売上増加にもつながりました。

「アイデア次第でまだまだ可能性がある機械なので、将来的には家具以外にも和室で使われる欄間や装飾用の家具など、オリジナリティあふれる商品づくりを展開していこうと思っています」

お客さまの要望に応えることで競争力が高まりました

昭 和47年の創業以来、スギやヒノキの県産材を用いたデザイン家具の開発・制作販売から住宅や商業施設の設計・施工、ネットショップまで幅広く事業を展開する同社。近年は海外や大手国内メーカーの類似品との競争を余儀なくされ、受注に苦戦している状況でした。

人 「既製品の家具業界は海外でも国内でも価格の競争が厳しいですし、オリジナリティを追求した商品じゃないと競争していけないという実感がありました」

「他社との差別化を図り、付加価値をつけるために、お客さんが希望する独自の模様や文字を刻印した世界にたった一つの家具を開発しようと思ったんです」そのためにはレーザー加工機の導入が不可欠でした。

「今までは完成した家具を外注に出して印字をしてもらっていましたが、でも、この機械があれば印字や彫刻の範囲を制限されることなく、自由にデザインができます。これまでできなかった注文にも応じられるようになったことで、お客さんにより満足していただけるようになりました」



オリジナルブックスタンド。人気が高い商品のひとつ。

2012 - 2015
Mad in MIYA



株式会社 クワハタ

世界に一つだけの家具で新たなマーケットを開拓

既製品では物足りず、自分のニーズに合った家具を求める消費者が増える中、オリジナル家具にレーザー加工機を活用し、「私だけ、我が家だけの家具」にたどり着きました。

ものづくり補助金活用 ここがポイント



封じ切り炭酸ガスレーザー加工機で独自性を追求

オリジナルデザイン家具にお客さんがリクエストする文字や図柄等を統一感を持たせながら彫刻・印字することで、他では真似できない商品を作れるようになりました。

Case 06 家具製造・建築 株式会社 クワハタ

〒889-1912 宮崎県北諸県郡三股町宮村1232番地2 TEL 0986-52-3263

